

# ちいき新聞

2019年6月21日号

松戸南版

発行部数41,340部

VOL.838 全55版

総発行部数2,074,923部

今週の見どころ

- ☆瀬地山角氏の講演会
- ☆ちばっ子学び塾
- ☆まんぶくガイド
- お徳なグルメクーポン付き



ちいきくん  
おでかけ日記

チバテレ(千葉県千葉市)

ちいき新聞に関するご意見・ご要望は ☎0120-152-337 広告掲載・チラシ折込等については ☎047-458-6802 受付/平日10:00~18:00 ※土日祝日は休み ✉matsudo-minami@chiikinews.co.jp

療法だ。

ピアノの前に座り、「好きなように音を出していいですよ」と言われ、タ、タ、タ、と音。それに合わせてセラピストが弾く。そしてまた好きな音を弾き、それに合わせて音が返ってくる。それはまるで会話しているようだった。

音楽療法を中心に、アートやダンスなど子どもたちの表現活動を支援する団体「NPO法人ユニークユニバース」(ユニバース)では、自分をすべて受け入れてくれているという安心感と、自由に表現しているんだという解放感に包まれる。これが音楽療法だ。

## 安心感と開放感に包まれる

子どもが伸び伸び生きていくために

# 音楽療法

～音楽を使って会話をする～

子どもに合わせて、セラピストと一緒に音楽を創作する音楽療法。即興演奏を用い、子どもの自信や自己肯定感を高めていく。

人は人との会話に言葉を使う。障害のある人、精神疾患のある人の中には言葉での会話の中に苦しみを感じる。日々の暮らしの中で人間関係にうまくつきあえない人も。しかし「誰かと話したい」「自分を分かち合いたい」という気持ちはみんな持っているはず。音楽療法は、言葉が言葉の代わりになり、会話するたびに心が癒やされていく。治療は通常マンツーマンで、30分。楽器はピアノをはじめ打楽器が中心で、セラピスト2人で行う。今は障害者や不登校の子どもが中心だが、音楽療法の対象は赤ちゃんからシニアまで幅広い。

## 音楽から福祉の世界へ

NPO法人ユニークユニバース理事長の益山ゆきさんは東京音楽大学ピアノ科を卒業。ピアニストになるために日々練習する中で、障害者施設でのボランティアの経験がきっかけに、福祉へと進む道を変えた。養護学校教諭として7年勤めた後、音楽療法士の世界へ踏み出した。「音楽療法という



心の赴くままに



過去に行われたイベントの様子

### NPO法人ユニークユニバース

日時 火曜～土曜、第1・第3日曜(変更あり)  
午前10時～正午、午後1時30分～午後7時

住所 松戸市総台7-31-1 ハイブアー総台B1階

問い合わせ TEL 047 (382) 5000 NPO法人ユニークユニバース

✉ info@uniunico.com

HP http://uniunico.com/

ものを多くの人に知ってほしい。そして、欧米では資格として存在する音楽療法士の仕事を日本でも広めていきたいです」と益山さんは語った。(チエリ)